

## 第2回議会報告会での主な発言等

### 1. 北区会場

#### (議会報告)

: 参加者の発言要旨

: 議員の答弁要旨

○ 震災瓦れき問題は方針通りやるべき。

→ 試験焼却中止の市の判断の経緯を説明。

○ 議会報告会のあり方について、採択・不採択は理由なども触れて欲しい。

→ 議会としても意見を参考に取組んで行きたい。

○ アイスアリーナ建設計画で DBO 方式は初めてだが判断の理由は。所管も契約案件なのに所管が総務常任委員会ではないのはなぜか。

→ 今後の整備計画に見合うということで、設計・施工・運営一体の DBO 方式の利点欠点を検討して判断した。全体一体となるので文教経済常任委員会の所管となった。

○ 再生可能エネルギーについて、議会でどういう議論をしているのか。

→ 市のスマートエネルギー推進計画の中では太陽光パネルや風力発電などについて事業化されている。

#### (意見交換)

○ 中国領事館問題について、議会として明確に反対して欲しい。市民への説明会を開いて欲しい。

→ 9月議会で請願も提出され、項目ごとに所管委員会で審議している。民間の土地ということで市としての対応は難しく、国の対応を待つという説明があった。どのような施設がつけられるのかまだ不明で、情報収集の必要性もあるという意見もあり、請願は継続となった。

○ 試験焼却用の震災廃棄物は返却すべきではない。

→ 市長から今回の対応についての説明もまだ受けていない。まだ実際には返却しておらず、明日(12月3日)に全員協議会で報告を受け、それを踏まえて動くことになる。

○ 新潟州構想について、そもそも合併して本当に良かったのかという声もある。州構想はちょっと待てと言う声が議会の中であまり聞こえてこない。

→ 現在、二重行政の解消という課題を軸に議論されている段階。議会内部でも批判的な意見も含め議論がある。

○ 議員定数について市民の関心は高い。市民の意見を聞くべき。

→ 議員定数調査特別委員会をつくって議論を進めている。今回の議会報告会でもアンケートを配布させていただいている。

○ BRT について、交流人口の拡大になるのか疑問。乗り継ぎもあり、利便性も問題。

→ 議会の中では反対意見もある。先行市の実情も視察してきたが、雪国で使っている先例はなく、新潟市の運行計画距離は非常に短いという課題がわかった。

○ H25 年度予算要望について、市民意見がまだゼロ。資料は部ごとの予算になっていて性質別の予算などがなく、これでは意見を言いにくい。

→ 市のホームページで他の資料を見れば性質別予算や市債の状況なども掲載されているが、確かにおっしゃることもわかるので市に伝えたい。

○ 議会報告会参加者が前回より少ない。ポスターは良くできているが街中でなかなか見かけない。多くの市民が参加できる工夫が必要。

→ 議会としても、開催前に古町と万代でチラシを配布したり、今回は大学や専門学校などにも案内し、若者が多く来られた会場もある。次回もさらに工夫し広く周知したい。

○ 1 回目の時に出されたアンケートをどう受け止めて、どこをどう改善したのか示して欲しい。

→ 広報担当としてご意見を参考にしてより良い報告会にしていきたい。

## 2. 東区会場

### (議会報告)

○ 瓦れきの広域処理は、隣県でもあり、放射能の問題であっても、できる限り協力すべきでないか。

→ 議会は、市民の安全を確保した上で受け入れるべきと決議した。明日市長から試験焼却を中止した経緯の説明を初めて受ける。担当常任委員会でも今後議論していく。

○ 動物ふれあいセンターに関心を持ってきたが、具体的な規模、場所で、いつ頃できるのか。

→ 長潟のサッカー場の近く。現在アルパカが入っているが、順次種類を増やしていく。正式な開園は来年5月である。

### (意見交換)

○ 中国総領事館の移転・拡大に関して、市民説明会を求める請願が継続審査となったが何故か。

→ さらに議論が必要なため、継続となった。

○ 瓦れきの搬入時に阻止行動をした人は公務執行妨害で排除し、受け入れを前に進めることはできなかったのか。

→ 延期の理由について市は、夜間に搬入を強行すると事故やケガ人が出る恐れがあることや、鉛や水銀が検出された問題もあり、十分な対策を講じたうえで、市民の理解を得て、試験焼却を実施するとの説明であった。

○ 鉛や水銀など一般ゴミの処理もままならないのに受け入れるべきでない。新田清掃センターに処理場から掘り起こされた焼却灰が山積みされている。

→ 理由ははっきりとはわからないが一般ゴミの中に鉛や水銀が多く含まれた物が焼却された。(焼却灰は)センターで再処理するために保管されている。

○ 中国総領事館はどういう目的で誘致したのか。議会全体でも誘致したのか。

→ 議会全体として誘致活動をしたことはない。

○ 中国総領事館に適正な課税をして欲しいという請願が継続になっているが、適正な課税で対応できるという考えか。

→ 課税の問題は、民有地でもあり、今の状況がわからない中で、税金の問題を判断できないことから継続審査となっている。

○ 議会改革を進めていることは評価をする。議員定数のアンケートは背景説明もなく実施するのは危険。市民との議論を経て実施すべきである。市政の変化が激しいことから、通年議会にすべき。また、市の政策を追認する議会ではなく、議員間討論を進めて、良い対案を作る議会となって欲しい。議会の情報公開を高めホームページへの情報掲載を早めるべき。

→ 貴重な意見として伺っておく。

○ 新潟市は、水の都と呼ばれているからことから、河川課という部署を作り、水を生かした街作りをすべき。

### 3. 中央区会場

#### (議会報告)

- 中国総領事館移転について、新光町に約5千坪もの土地が購入されたとあるが、重大な危機感を抱える多くの市民の声に議会としてどう応えるのか。また、市民への説明を求める請願が継続審査となったが、採択されなかった理由は。
  - 9月の請願については、外務省からの情報がはっきりしておらず、説明できるまでに至っていないということで、継続審査となった。議会としても市民の心配を払拭していかなければならないと考えている。
- 震災瓦れきの試験焼却を延期したことは、新潟市としての質が問われてしまう。市議会としてどのような対応をしていくのか。
  - 今回の対応については大変残念に思う。12月3日に市長より今回の事についての説明を受けるので、その後対応したい。
- 水銀、鉛の基準値を超えた事についての市からの説明がなかった。
  - 水銀と鉛が基準値を超えた問題と瓦れきの受け入れについては別問題である。議会としては瓦れきを返却することについては、待ったをかけた。市民住民に対してよく理解をして頂いてからの受け入れになると思う。
- 過去の市の対応(美術館及び水族館の問題)に関して、職員の意識改革が見られない。意識改革の強化をして頑張りたい。
- (瓦れきの焼却について)新潟県と各市とでは温度差があるが、いい結論を出して欲しい。
- 瓦れきの処理なくして震災の復興はないので頑張りたい。
- コミュニティー活動設備整備補助金について、50万円以上の金額のもので2分の1補助となっているが、条件を緩和し使い勝手の良い補助金にして欲しい。(発言は50万円以上であるが、現状は20万円以上)
  - 今後の要望として伝える。

#### (意見交換)

- 市議会の県外視察はどのように行われているのか。また新潟市に県外からの議員視察はあるのか。
  - 同規模、同程度の予算のところに行っている。また、人口規模だけでなく、問題趣旨にそった事例のあるところについて視察を行っている。
- なじらね新潟市債について、以前は銀行に並ぶほど申込者がいたが、国債に見合ったものにして欲しい。また、購入者に対して市の施設の割引や無料にする等して欲しい。
  - 議長に伝え、行政に伝えたい。
- 市民と議員とが意見交換をする場をもっと設けて欲しい。また、地元の議員も1人くらいは来てもらいたい。
- 水と土の芸術祭について、現在も開催中で結果は出ていないと思うが、市議会でも予算を押し通しているのだから、費用対効果も考慮し、しっかりと検証して欲しい。
  - 今年度の水と土の芸術祭は、予算減額した中で新潟の活性化を図る趣旨で予算を可決した。生活関連でも予算の足りないところもある。この検証をみながら2月の予算でも各常任委員会で審議していきたい。

- 外国籍の方の生活保護受給を疑問に思う。市の予算が無駄に使われないようチェックして欲しい。
- 公営墓地について、需要があると思うが、議会として動きがあるか。また上所の旧市場跡地など、市有地の売却の動きはどのようになっているのか。
  - 公営墓地は需要があり、今後造成するところもある。不要な市有地は売却していく方向である。
- 中国総領事館の移転問題について、市民意見を聞く場を作って欲しい。新潟市議会としても外務省に出向いてでも、私たちの声を届けて欲しい。
- 最近市の施設、新潟県の施設にしても、カタカナで名前を付ける傾向にあるが、意味のわからないものが多く考慮して欲しい。
- 中国総領事館の問題について、中国は矛先を日本に向けて破壊行動をする。高校生が部活を終えて安心して歩けるか。議会には、是非頑張っていたきたい。
  - 議長にも話をして議論していきたい。

#### 4. 江南区会場

##### (議会報告)

- 震災瓦れきの処理について、燃やすことには賛成だが、混ぜないでそれだけで燃やすべき。なぜ混ぜるのかと言えば、塩分が入っていて、それだけで燃やすと窯がダメになるから混ぜて燃やしてごまかしている。

説明会は会場の選定が間違っている。関係のないところで説明している。税金の無駄遣いだ。

→ 9月定例会で試験焼却の費用が計上された。その審査の中では49回もの住民説明会を開催したことを評価している。試験焼却の実施なくして受け入れ是非の検討も進まない。今後も市民の立場に立ち、情報開示などにより不安感の払拭に努め、一日も早く試験焼却を実施するよう強く求めるというのが、常任委員会全体の意見集約の結果だった。

試験焼却の実施は議会として賛成多数で決議されており、予算計上は妥当と判断されている。一方住民説明会などでのアンケート調査などからも、市民の理解が得られていない現状の下では、予算計上はすべきではないという反対の意見もあったということはしっかりと申し上げたい。

説明会は、埋立地や焼却場周辺の関係のある地域で説明し、そのうえで市全体でも説明会をした。

- 国民健康保険料が高い。
- 母子家庭への支援について、母子家庭だけでなく父子でも困っている人はいる。男女雇用均等法というが女性だけこういうことをして男性には差別するということでは逆ではないかと思う。
  - 母子家庭に支援しているが父子家庭も多くある。父子家庭にも補助金のようなものは対応している。
- ひとり親家庭への支援事業について、利用者に好評だということだが、具体的にどれくらいの成果があったのか、どれくらいの方に利用されているのか。
  - 看護師の資格を取るための事業があって、平成16年から導入している。平成24年度には8名、23年度までには24の方が利用し、資格を取った方が21名、就職した方が19名いた。もう一つのIT関係の事業は始まったばかりで、まだ就職には結びついていない。

##### (意見交換)

- 中国総領事館について、領事館が土地を買って移転することに懸念を持っている。中国領事

館を誘致されるにあたって、市議会あげて賛成したそうだが、何を期待されて誘致したのか。

→ 領事館の誘致は、以前から取り組まれてきた。中国と新潟が東アジアの玄関口として、拠点性を高めていこうという中で、中国とか東アジアのエネルギーを取り込もうということで、領事館を誘致して(新潟が)その窓口としての地位を確立していこうという時代だった。ここ数年土地の問題とか出てきたが、それまでは友好的な関係を築き誘致を積極的に図ってきた。

○ 領事館誘致の目的が、東アジアのエネルギーを取り込むということは、これを目指そうといったものはなかったのか。

→ 具体的に何かというと、中国の活力、たとえば企業の進出、企業に来てもらう、人の流れ、実際のエネルギーの流れという風に認識している。

○ 中国総領事館について、大きな土地を中国に売るということがどういうことなのか非常に懸念がある。市長に直接質問したが、国防は国に任せて経済しか頭にないというような回答だった。危機意識を持ってほしい。

→ (個人的見解として)中国との国交正常化はすごいことだった。韓国の領事館はすでにあってその後ロシアもできた。市も県もぜひ誘致をしたいということになった。現状の中国総領事館の体制は、新潟を拠点として福島・宮城を取り巻く関係がかなり広域的なつながりを取っているはず。そういう意味では新潟は拠点になっている。

万代小学校の跡地に領事館を誘致したいという要請があった時に議会としては取りやめさせた。今起きている領事館問題、土地の問題は私どものわからないところで進んでいることで定かではない。現在の中国の領事館は5カ所あるがすべて借地である。なぜ日本の土地を売らなければならないのかということで、国に対して意見書を提出した。民間で売買されてしまうと行政が入る余地がなくなるということで、意見書を上げたことは間違いなかったと思う。まだ結論は出ていない。

○ 税金の未納者が多い。徴収課ができたが8億円ばかり。とにかく国保は高い。長岡より数万高い。個人病院に補助を出しているがその必要はない。医者は足りないといっているが新潟市は多くいる。

→ 税金滞納は税の公平性からも納めてもらわなければならない。8億円の目標で徴収を進めるが目標に届かないかもしれない。中には納めたくても納められないという現実の生活がある。病気になったり事故にあったり。そういう人に対して、市役所も親身になって対応しなければならない。

○ 国保の未納に関して、正直者が馬鹿を見るようなことはやめさせなければならない。

→ 国保は確かに大変な状況になっている。国民年金だけでは生活できないような状況にある。介護保険は年金からの天引きということでなおのこと大変になっている。結局最後には生活保護ということにならざるを得ないという状況になって、特に震災後生活保護は増えているという状況がある。病院にかかっても未納金があるということも、納めたくても納められないという状況があることを心配している。今まで厚生年金だった人が会社の経営状況が悪化により国保に入ってくれと言われている人もあると聞いている。こういうことが一層国保を大変な状況にしている。議会でもよく検討していきたい

○ 通勤費をもらっていないながら、無料駐車している職員がいる。駐車料を取るべきだ。

→ 現在は駐車料金をとっている。

- 生活保護で医療費がかからないことは問題ではないか。100円でも200円でも取るべきだ。市議会も工夫して100円でも200円でも収入が出るようにして欲しい。かかるものはやむを得ないと思うが、少しでも収入を増やすようにして欲しい。
- 半年前の議会報告には興味はない。報告会の目的は、市民から意見を聞く「意見交換会」を重点にして欲しい。全て意見交換にしても1時間半しかないので、終了時間は決める必要はない。
- (議会報告会は)市政の主要課題について、議員の方から示し賛否など市民の考えを聞く場に位置づけるべきである。議会報告会は議会終了直後に開催し、同時に参加市民から市政への要望などを聞き取り、次回の議会に臨むための報告会であってほしい。議員の役割は、議会の審議結果を報告することより、市民ニーズを把握して市政に反映することである。地方議員はボランティアが起源だから奉仕の精神を失ってはならないと思う。
- 各区1カ所の開催だが、これで市民に周知できると考えているのか。単なるパフォーマンスではないか。
- 区からの選出議員は誰かも知らない。区選出議員が揃って出席して区民に氏名と顔を一致させることが議員活動の第一歩だと思う。会場ごとに報告内容を一致させる必要はないし、区民の関心事を詳しく報告することでよい。
- 中国総領事館について、領事館を開設するというのに懸念を持っているのではなく、そこが全く治外法権になって日本の警察権が及ばない。経済交流も友好も大事だが、利害関係のない市民の懸念が増大すると思う。そういう観点から、市として外国人、外国が土地を買いにくくする条例を作るということは市議会の中で話は出ていないのか。
  - ご意見はもっともと思う。議会でも万代小学校の跡地の売却には反対した。国の方にも意見を上げるなど行動を起こしているが、我々議員の出来る範囲は限られている。法律に基づいて国は動いているので、我々もそれに基づいて動いている。一番大事なのは危機意識。要望があれば具体的に言って欲しい。
- 日中友好の経済交流ということだが日本人は払う税金が高い。高校生でもアルバイトをすると税金を払うが、留学生は税金を払わない。中国人は日本に来てすぐ生活保護を受ける人が多い。おかしいのではないか。
  - 調査して議会のホームページに掲載する。

## 5. 秋葉区会場

### (議会報告)

- コミュニティ活動設備整備補助金について、予算が市全体で500万円ではコミ協・自治会活動はできない。この補助金は政令市になって宝くじ補助金に代わるものと認識しているが、500万円では少なすぎる。予算の増額を要望する。
  - この補助金は宝くじ発行の利益金によるもので、増額しなければならないと考える。使い勝手がいいものという要望を議会ですしている。補正をし、700万円にしたが今後も拡充について対応していきたい。

### (意見交換)

- 中国総領事館に対する不安の声が上がっている。請願は継続になっているが、議会には市民と中国領事館との間を取り持ってほしい。我々の血税が中国からの留学生の奨励金に使われ、生活

保護を受ける人もいる。議会の適切な対応をお願いしたい。

→ さらに動向を注視していく。市民生活に危害が及ばないように取り組んでいく。

- 政令市になり5年たったにもかかわらず、旧市町村の名称の看板が残っているのはおかしいので外すべき。

→ 旧市町村の名称の看板については、市管理、県管理、国管理がある。市管理についてはこの間適切に対応してもらっていると認識している。

- 合併し広域行政になれば財政基盤がよくなると言っていたにもかかわらず、借金が増えていくのは合併が間違いだったのか。

→ 合併建設計画で市債が増えているが、計画はあと2年で終わる。必要なインフラ整備をしてきたが、累積赤字は問題だと議会の中で意見は出ている。

- 新潟市の交通政策について、車に依存しない公共交通、高齢者の免許証返納サポート事業などに取り組んでいるが、公共交通の保障に取り組む姿勢が見えない。公共交通空白地域でアンケート調査に取り組んだが、交通の不便は感じながら、市は何もしてくれないというあきらめモードが強いという結果だった。反面、将来の移動手段に不安を持っている人が多く、一番意見が多かったのが、不便な所ほど手厚く公共交通を整備してほしい。同じ税金を払っているのに区によって格差がありすぎる。最低限、買い物・通院には公共交通を補償すべきだ。そこで、住民バスを走らせる取り組みをしているが、収支率30%を確保するのは人口が少ない秋葉区では困難が予想され、補助率を上げるべきだと考えるがどうか。

→ 市民の最低限の生活を保障する公共交通が必要である。地域を守るために、空白地域の区バス・住民バスなどを運行し、中心部だけでなく、周辺地域の公共交通を充実することは議会の中で意見は出ている。

- 新潟州構想について、どの段階まで進んでいて、どのような方向に行くのか。

→ 新潟州構想では、市・県の合併、区長公選、20万人から30万人の行政区割りなど、大きな再編イメージから、今は公営住宅や文化施設など6項目の県との課題解決に向けた協議を行うなどとしている。

議会では、動向を注視している。大都市制度調査特別委員会において、調査研究をしており、執行部より報告を受けている。議会としての対応は今後になる。

- マンガ・アニメ情報館について、水木しげるの境港は町おこしにつながって、観光客が何十%も増加したというが、新潟は館を作ればいいという考えだけでなく、町おこしにつながるよう考えてほしい。

→ マンガ・アニメ情報館はまちの活性化に重要である。意見はしっかり受け止めたい。

- 昨年、診療報酬の改定で市民病院の収入は増え黒字になっているが、新築したために起債があり、職員待遇がいつまでたってもよくなる。病院長はじめ職員は一生懸命やっているが、医師看護師不足も解消できない。職員待遇を改善するため、建設債を別の方法でカバーできないのか。

→ 市民病院について、企業会計の採算性を高める努力をしている。看護師の離職率の高いことは問題だと考えている。

- 市報にいがたの内容が、イベント案内ばかりで市民が知りたい情報がない。議会報告会の案内ももっと大きく扱ってもいいのではないか。

→ 市報にいがたの紙面の充実について、意見はしっかり受け止めたい。

- 瓦れきの問題について、大槌町から持ってきた瓦れきは嚴重に検査して運ばれてきたのに、反対派の人たちの実力行使に屈し、受け入れを中止した。公務執行妨害ではないのか。新潟市は全国に恥をさらし、被災地の人たちに悲しい思いをさせ、県内受け入れ地の足を引っ張った。費用もかかっていることから、反対した人たちに対し、損害賠償させたらいい。市長には毅然としてほしかったが、議会としてどうか。
  - 市長より「搬入阻止した人たちの中には、地元自治会の方もおり、強硬搬入をした場合、夜間雨の中で事故やけがなど不測の事態を考慮したこと。また、焼却施設での基準値を超えた鉛、水銀が検出されたことが地元で不安を与えたこともあり、十分な対策を図り市民、地元の皆さまの理解を得たうえで、再度試験焼却を実施し本格受け入れに向けた検討をした方がよいと判断した」との説明を受けた。
  - 3月議会で広域処理を議会として決議し、9月議会では試験焼却にかかる予算を議決している。市民の安全確保、市民の理解、十分な体制のもと震災廃棄物の受け入れは、被災地復興支援の観点から今後市の受け入れに向けた取り組みを注視していく。

## 6. 南区会場

(議会報告)(質疑なし)

(意見交換)

- 「市長への手紙」にも何回も出したが、都市計画道路の路線変更について、議会もなぜ認めたのか。住民の声を議会もよく理解して欲しい。
  - ご意見として承る。
- 昨年夏の豪雨水害の時、毛布が足りない避難所もあったと聞くが対処は。
  - 一時偏った配備のため、そういうこともあったようである。対応済みであるが、なお確認しておく。(→備蓄している所から必要な避難所に持って行ったことを危機対策課に確認済み。)
- 参加者が少ないが、時期や区選出議員の参加なども検討したらどうか。

## 7. 西区会場

(議会報告)

- マンガ・アニメ、水と土の芸術祭に予算を使う余裕がどこにあるのか。
  - マンガ等を市の財産としてまちづくりに利用していこうという考え方について議会も了承した。
- 瓦れきの試験焼却ができなかったのは市民への説明不足があった。議会の対応も不信感を買った。また、簡単に変更するのはよくない。
  - 9月議会で試験焼却の予算を承認した。被災地復興の観点から今後の取り組みを注視していく。
- 市民病院に女性医師が少ないのではないかと。また、ひとり親家庭の就労支援の強化が必要。
  - 市民病院の医師確保は課題である。病院内に託児所を設けることは難しい状況であるが、隣に夜間保育を行う民間保育園が開設されている。就労支援は利用者から好評なので今後も支援は続けていく。
- 「公共交通及び自転車で移動しやすく快適に歩けるまちづくり条例」は、これからの中身が大切。住民と一緒に計画をたてるべき。



→ 公共交通は中心部をどうするか、各区内の移動をどうするか、そして各区と中心部の拠点間をどう結ぶかを検討中の段階である。公共交通の充実は重要と考えているので、執行部に求めていきたい。

○ 2回目の議会報告会だが参加者が少ない。PR不足ではないか。議員としてどのようなPRをしているのか。

→ 次回開催についてさらに積極的なPRを行っていきたい。

#### (意見交換)

○ 焼却場で水銀、鉛が検出されたことについて議会はどうかとらえているか。

→ 施設の信頼性に対する不安が試験焼却延期の要因の1つと思っている。

○ 実家が福島市だが、「瓦れき＝放射能＝危険」という考え方の方が危険だと思う。

○ 新潟市役所に臨時職員が多いことについてどう考えているのか。

→ 決算特別委員会でそういう指摘もある。特に保母に臨時職員が多く、正職員を採用すべきという意見もある。

○ 被災地から母子避難しているケースが多いが、子どもの健康と親の就業の強化が必要ではないか。

→ 自主避難の方が2,478名いる。議会では災害議員連盟で、いろいろな要望、不満等を取りまとめて、市や国、県に対して要望していく予定である。

○ 市内で不公平な除雪について新年度はどうか情報あれば聞きたい。

→ 市議会でも同様な意見が出ている。新年度は自治会の負担をなくす方向で検討されており、12月議会で方向が出される見込みである。

○ 新潟市は海拔ゼロメートル地帯が多く災害に弱いことをどう捉えているか。西区の防災についてはどうなっているのか。

→ 信濃川沿線の堤防等の嵩上げ、耐震性の低い避難所の更新を行っている。中央区では、ホテルとの防災協定を進めている。各区で防災拠点施設の整備を進めている。西区については後ほど報告する。

○ 中国総領事館の5千坪は治外法権になるが、議会は賛成しているのか。

→ 5千坪の広さが必要かどうかは議会でも疑問を持っている。

○ 区選出の議員の出席がないため、意見を出しても少しもどかしい感じがする。

## 8. 西蒲区会場

### (議会報告)

○ 駐新潟中国総領事館移転に関する請願2件の内容を教えて欲しい。また、市民が知らない間に進んでいくことの情報開示をして欲しい。治外法権になるのが怖いと思っている。

→ 領事館の移転に関して、市民説明会を実施することと、本来業務とは関係のない施設には適正な課税をすることという2件の内容である。情報開示はやっていく。

○ 地域の祭りが、後継者がいない等によりなくなっていく。新しいものを立ち上げるのも良いことと思うが、お金がないために、昔からの文化が消滅しないように援助をお願いしたい。

→ そういう視点も重要と思うので、議会でも検討していきたい。

(意見交換)

- 拉致問題について、報道で聞き込みをしたというのを聞いたが、35年も経って当時の状況など覚えている人はいない。経費の無駄ではないか。
- 若い人が無銭飲食をするような状況を憂慮するので、ワーキングプアなどの状況を改善して欲しい。
  - 大事な問題と思っている。最低賃金が700円に満たない。市でも正職員を減らして非正規の人が増えている。
- 新潟市の姉妹都市はどこで、交流の継続はどのようにしていくのか。
  - アメリカのガルベストン、フランスのナント、中国のハルビン、ロシアのビロビジャンとハバロフスク、ウラジオストクが姉妹都市である。
- 生活保護受給者が増えているが、外国人で受けている人の割合はどうか。制度にお金をかけるのは賛成だが、個人に現金を支給するのは上から目線のやり方で反対である。制度を働きやすいようにするためにお金をかけていくことを支持する。
  - 今データを持っていないのでホームページで回答させていただく。意見としてお聞きする。
- 出席者が少ない。PRはどうしているのか。
  - PRの方法等検討していきたい。
- 柏崎原発の再稼働に関する意見書の内容を教えて欲しい。ここは40キロくらいしか離れていないのに、どういうふうに認識しているのか。万が一柏崎に事故があったら大変なことである。
  - 今回の(福島)の事故もあるが、事故の十分な検証をして再稼働については慎重にやってもらいたいという趣旨の議員提案での意見書である。先ほどの件を合わせて後日ホームページで回答させていただく。
  - 正式な文面は後ほど出させていただくが、市議会でも再稼働に賛成の議員もいるし、絶対反対の議員もいる。今回の意見書は柏崎刈羽原発の再稼働は(福島)の事故の何も検証もなく再稼働されることがあってはならないという趣旨の意見書で、それが賛成多数で可決されたものである。
- 図書館によく行くが、図書館の予算を減らすことのないようにお願いしたい。
  - ご意見としてお聞きしておく。